

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	非営利活動法人 因幡万笑の会 スマイルグー			
○保護者評価実施期間	令和8年3月10日		～	令和8年4月11日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17	(回答者数)	14
○従業者評価実施期間	令和8年3月10日		～	令和8年3月23日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	年 月 日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> ○1階・2階に広いプレイルームを備えている。 ・広いプレイルームを利用してミュージックケアを行っている。 ・広いプレイルームでダンス・ボール遊び・おのごっこ等で走り回られたり体を動かされたりできる。 ・集団活動を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・月1回は外部講師を招きミュージックケアを実施している。 (ミュージックケア実施のアドバイスを頂く。個別支援計画への取り入れを相談する。) ・施設内でも実施できるように職員がミュージックケアの研修を受け、実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ミュージックケアの実施回数を増やす。 ・集団活動で個人差があるため、1階・2階に分かれて行っている。

2	・自己表出が難しい人にカードによる自己表出を行えるように支援している。(PECS)	・社内研修を行い職員全員が同じ支援を行えるようにしている。	・実施支援の振り返りを行い理解を深める。 ・外部講師による評価も参考していく。
3	・児童発達支援・放課後等デイサービス・生活介護の事業を行っているので、就学前から成人後も続けて利用できる。	・環境の変化に関わらず統一した支援・関わりを心がけて安心して過ごして頂いている。	・各利用者の将来を見越し就労や自立を目指しての支援を行っている。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保護者様が施設内のことや利用の様子を知っていない。 ・地域交流ができていない。	・保護者様・地域の方々に公開のイベントができていない	・保護者様・地域の方々に公開するイベントを実施する。 ・保護者様には連絡ノートでの文章による様子の伝えでしたが、公式ラインにて、写真や動画で利用の様子を伝えていきます。
2	・利用者の特性に合わせて楽しみながら成長できる活動が十分に作れていない。	・各人に合った個別活動が足りていない、または、固定化してしまっている。 ・動線、作業スペース、する作業(活動)がはっきりしない。 ・	・個別活動に関する勉強会を開き、バリエーションを増やす。 ・場所・時間の構造化を考えて、利用者に合わせて環境を作る。

3			
---	--	--	--

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 NPO法人因幡万笑の会 スマイルグー

公表日 年月日

利用児童

数 17

回収数 14

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	11	1		2		・1階と2階に広いブレイルームがあり、十分なスペースがあります。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	6	2		6	・具体的に何人おられるかわからない。おたより等で職員紹介があればありがたい。	・職員数は適切に配置しています。結果としてわからないという意見が多かったです。見学を受け入れています。申し込みがないようなので、おたよりの配布を検討します。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	9	3		2		・バリアフリーになっています。 ・階の移動にもエレベータが使えます。 ・いつでも見学ができるようにしています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	10	1		3		・広いブレイルームでの多人数の活動スペースとパーティションで区切られた空間・食堂・小部屋での個別活動スペースがあります。
5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	11	2	1			・障がいの研修を行ったり、支援開始前に話し合いを行い利用者の理解を深めています。	

適切な支援の提供	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	10	1		3		・支援プログラムの周知ができていないと思われるので周知していきます。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	12	2				・個別支援計画を作成前には保護者様に調査表を書いていただきニーズを把握するようにしています。 ・相談員・他事業所との支援会議に参加し支援内容を協議しています。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	12	2				・個別支援計画では五領域に対する各目標を立て支援するようにしています。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	12	1		1		・個別支援計画に沿った支援を心がけています。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	10	1	1	2		・季節に沿ったイベントを企画して楽しんでいただくようにしています。 ・保護者参加のイベントを企画していきたい
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	4	4	2	4		・児童館と交流するようになりました。しかし、一緒にイベントを開催しているわけではないので今後検討していきたい。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	11	3				・契約時や変更になった時に説明しています。

保護者への説明等

13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	11	2		1		・個別支援計画作成時に面談希望を取り希望者には面談を行っていますが、希望されていない方は説明が十分とは言えない。
14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	8	1	1	4	・成年後見人制度の勉強会参考になりました	・家族等の参加できる研修会は開催できていない。今後はそういう研修会が開催できるよう検討していきます。
15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	13			1		・連絡ノートや公式ラインにてコミュニケーションをとるようにしています。 ・公式ラインに利用中の写真にてお知らせし、様子が伝わりやすくなりました
16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	10	2	2			・個別支援計画作成時に面談希望を取り希望者には面談を行っていますが、希望されていない方は説明が十分とは言えない。
17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	12	1		1		・常に利用者の立場に立ち支援することを心がけています。
18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	3	6	2		・保護者会等は開催できていない。保護者会ではないが、今後は保護者参加のイベントを企画していきたい。
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	8	3		3		・相談窓口を管理者が担っている。また、支援会議で相談しやすい場を設けている。

	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	10	1		3		・送迎時の対面会話や公式ライン・連絡ノート等複数のコミュニケーション手段を用意しています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	9	2	2	1		・自己評価についてはホームページに掲載していますし、保護者や利用者に配布をしています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	8	4		2		・個人情報の取り扱いについては注意するようにしています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	7	3		4		・事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル等の各マニュアルは作成しておりますが、保護者に周知できていないようです。周知して頂けるよう努めます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	5	4		4		・避難訓練は年2回実施していますが、利用者が訓練の日に当たっていないと考えられます。いつ災害が発生するかわからない状況なので、訓練の回数を増やす等の検討します。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	7	3		3		・安全計画を作成しています。しかし、十分周知できているとはいえません。今後周知を図っていきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	7	3		4		・わからないという意見が多くありますが、実際に事故等が発生すれば速やかに報告をします。
	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	13			1		・利用者の気持ちを理解し、不快を取り除いていくよう努めています。

満足度	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	14				・いつも楽しく安心して通っています。	・楽しくなるようなイベントや活動を取り入れてよう努めています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	10	4			・長期休みで送迎車が混み合うので駐車場の確保して頂きたい	・ご家族・ご利用者としてしっかり向き合い満足していただける支援を目指していきますので、ご意見等いただければと思っております。宜しくお願い致します。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名 NPO法人因幡万笑の会 スマイルグー

公表日 年 月 日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		1階2階と広いスペースを有し、十分な広さがあります。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	2	職員の配置数は適切である。個性の強い利用者様には個別対応を行っている。	個別対応の利用者様がおられるときは職員数を増やすほうが良い
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	7			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	1		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6			

	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	4		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	2		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	1		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	1		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	2		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3	3		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5			

19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7			
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5			
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	2		
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7			
23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	3		
24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	4	1		
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	1		
26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6			
27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	1		
28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7			

関係機関や保護者との連携	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	1		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	4		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	3	児童館との交流はするようになりました	
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	2	4		管理者のみ参加で結果も全職員に周知できていなかった。今後周知を行っていく
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	4		研修等のお知らせは行っているものの職員の確保が難しく参加できていない
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3	2	契約時に運営規定等は説明しており、負担についても説明しており、変更があった場合はその都度説明している	
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7				
38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6				

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		6	保護者会を開催していない。学校等の横のつながりにゆだねている。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	6		駐車場等の確保が難しく行えていない。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7			

非常時等の対応	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	1		安全計画は作成しており、周知ができていないため、行っていく
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	1		安全計画は作成しており、周知ができていないため、行っていく
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	1		虐待防止研修は行っており、新しい職員に対し未実施なので行っていきます。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	1		身体拘束の実施について決められており、保護者様にも説明は行っているが、周知ができていないようなので、徹底してく